

## 地域支援組織「未来へ拓く会」を生かした本校の地域連携・地域交流

富士吉田市立下吉田第一小学校

### 1. 目的と経緯，組織構成

下吉田第一小学校は、令和2年度より、小規模特認校の認定を受け、市内在住なら学区関係なく入学できるようになった。小規模校の良さを活かした「きめ細かな教育」，グローバルな人材育成を図る「国際理解教育」，地域の専門家を招聘しての「ふるさとふれあい学習」を特色としている。そんな小規模特認校としての在り方や，魅力ある学校づくりについて，協議や支援活動を行う為に，平成23年度より運用されてきた学校地域支援組織「下一小学校地域安全委員会」を発展的に組織改編し，緊急災害時における学校と地域との連携の機能を引き継ぎながら，学校教育の総合的支援組織としての機能を持つものとして本会を立ち上げた。構成員は，地域関係者（自治会長，育成会長，消防団長，幼稚園保育園園長，旗振りボランティア代表，地区選出市議会議員，学校評議員，市安全対策課職員），本校PTA役員及び本校職員である。毎年，6月に役員会，2月に総会を行っている。

### 2. 成果と課題

今年度も6月に役員会を開いたが，その折には，特認校としての在り方や，地域支援の在り方に対して，様々な意見交換がなされた，そうした貴重な意見を反映させ，今後，より魅力ある学校づくりに励んでいきたいと考えている。また，本会を通じて，本校の様子を地域の方に知っていただくことで，地域の方に旗振りボランティア（写真・上）としてご協力をいただきたり，7月には実施した150周年記念航空写真撮影会（写真・中）や，10月にはシニアクラブの皆様とふれあい集会（写真・下）を開催できたりと，地域の方と連携・交流を進めることができている。課題としては，地域の組織（自治会長，育成会長，消防団長）は，毎年，新組織となるので，メンバーが入れ替わってしまうので，継続した連携をしていくには難しい一面もある。今後は組織の在り方も含め，更に効果的で深い連携をもてるような会へと発展させていきたいと考えている。

